

委員会調査（研修）報告書

平成30年 5月10日

胎内市議会議長
森田幸衛様

（報告者） 厚生環境常任委員長

渡辺栄六

厚生環境常任委員会閉会中所管事務調査について、
議会会議規則第110条により、下記のとおり報告します。

| | | | |
|-------------------------|---|--------------|---------------------------|
| 調査・研修 日 時 | 自 平成30年 4月24日 至 平成30年 4月24日 泊 日 （1日間） | 調査・研修 場 所 | まごころ保育園たいない こぼと作業所 |
| 調査・研修 事 項 | ① 社会福祉法人、真心福祉会「まごころ保育園たいない」施設の現状を視察。 ② 社会福祉法人 青空会「こぼと作業所」施設の現状を視察。 | | |
| 調査・研修 出 席 者 (参加者) | 渡辺栄六、森本将司、渡辺宏行、高橋政実、 小野徳重、渡辺秀敏、佐藤陽志、八幡元弘 | | |
| 相 手 方 (対応者) | 「まごころ保育園たいない」 苗木園長 「こぼと作業所」 阿彦施設長 | | |

調査の結果または概要

「まごころ保育園たいない」は本年4月1日、胎内市加賀新地内に私立保育園として設立開園した。定員は84名であり、開園スタートにあたる今年度の入園数は0歳児が9名、1歳児が14名、2歳児が13名、計36名である。“温かい心とやさしい笑顔でまごころこめて子どもと接し、家庭的な雰囲気の中で安心して生活できるよう一人一人の生活リズムを大切にしたい保育を行う”との保育理念で事業を開始している。

「こぼと作業所」は就労継続支援B型（指定障がい福祉サービス事業所）であり、東本町の旧施設から柴橋地内に本年4月より新施設竣工し、定員も30名から40名に増員した。作業内容は、古着を回収したウエス加工・手芸品作り・家電リサイクル・ダンボール仕切り組み立て・球根等の皮むき、袋詰め作業等である。“地域のニーズに積極的に取り組み共に豊かな地域づくりを目指す”との基本理念で福祉施設の事業をしている。

調査の所見・感想

まごころ保育園たいないは、こどもにやさしい木のぬくもりに溢れた園舎として整備され、真新しい設備が整った施設である。当保育園の周辺には新興住宅地が年々、広がりつつあり保育を希望する方のニーズにも応えられることに繋がることとなる。また、市としても新しく保育園一ヶ所が開園されたことにより、課題であった待機児童問題に関しても解消されると思われる。開園スタートとなる今年度は、定員の約半分にあたる未満児のみの入園数ではあったが、年次的に年少、年中、年長児が増加し定員に満たされ、地域に愛される保育園になることが期待される。

移転新施設となったこぼと作業場は、旧施設の約2倍の広々とした敷地となり、田園地帯に囲まれ環境にも恵まれた施設となった。作業内容は旧施設時とは特段変わりはないが、利用者が毎日、黙々と作業に取り組んでいることと、地元企業等から仕事を自主努力で確保していることに改めて感心させられた。施設長との意見交換の場で、利用者一人一人の工賃の差はあるが月1万円になればよいほうであるとの説明であった。郊外に移転したことにより今後、農福連携で農業従事者の担い手としても貢献し、少しでも工賃アップになるよう、様々な角度から当委員会としても支援を考えていかなければならないとともに、障がい福祉事業の課題についての声もしっかり聞いていきたい。